

2012 (平成 24 年)

広報 びらとり

1

No.611

新年あけましておめでとうございます



「ドレス型」にアレンジしたタオルが、明生大学より弥生保育所園児に贈られました

今月号は…

- 年頭のごあいさつ
- 2011 びらとりの一年
- ISO14001 認証を更新 (2 回目)
- 町の取り組み
- 町のひろば
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

謹賀新年

年頭のごあいさつ



平取町長 川上 満

輝かしい希望に満ちた新春をご家族共々健やかに
迎えることと衷心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろより町行政の運営に特段のお力添えを
いただき、改めて深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年、3月11日に発生した東日本大震災から9カ月
余りが経過しました。被災された多くの方々から心から
お見舞いとお冥福をお祈りいたしますとともに、被災
地での一日も早い復旧・復興を願うものであります。

この災害を教訓に災害に強い町づくり、そして町民
の皆さんが末永く住みなれたふるさとで安心して暮ら
せるまちづくりに最大の努力をしなければならぬと
痛感しているところであります。

このような情勢の中で、本町の基幹産業であります
農業につきましては、大きな災害もなく、気候に恵ま
れ、平取トマトの販売額が40億円を突破したことは大
きな快挙であり明るい話題の一つでありました。

さらに、地上デジタル放送の完全移行がなされ、光
ファイバー整備により、日高管内で最初に光通信が開
通されるなど、町民ニーズに対応した整備を進めるこ
とができました。

そして、口蹄疫による被害拡大防止のため、中止し
ていた各種イベント等も開催することができ、改めて
自然との共存、大切さを感じた1年でもありました。

さて、迎えました本年は、第5次総合計画後期5カ
年計画を基本として、各種事業・施策に取り組んでい
ます。現在、審議会により検討が行われ、1月下旬に
は新年度事業の答申がなされる予定となっております。

平取町には、過疎化、少子高齢化対策、景気浮揚対
策、平取ダム早期完成など多くの課題が山積してお
ります。その中でも、福祉施設の充実、びらとり温泉
の改築事業、東日本大震災を教訓とした国保病院等公
共施設の耐震問題、町民のライフラインである老朽化
した水道施設整備など、限られた財政の中、集中と選
択で取組んでいかなければならないと考えております。

明るく住みよい地域社会の実現と、天候に恵まれ平
穏な年でありますよう祈念するとともに、皆様方に
とつて幸せ多い年となることをお祈りし、年頭のご挨拶
といたします。

初春をお慶び申し上げます

町議会	議長	鈴木修二
同	副議長	安田功二
同	議員	丹野信一
同	議員	藤澤佳宏
同	議員	山田一明
同	議員	貝澤真澄
同	議員	平村公子
同	議員	松澤以久子
同	議員	四戸正彦
同	議員	櫻井幹也
同	議員	松原俊幸
同	議員	千葉良則
代表監査委員	(議席順)	山田和博
農業委員会	会長	福山昭三郎
教育委員	会長	本間稔浩
選挙管理委員	会長	遠藤裕昭
公平委員	会長	佐々木孝
国保運営協議会	会長	安田功二
民生児童委員協議会	会長	池川和男
副町長		泉澤敏裕
教育長		斉藤憲章

1月

- 平取消防出初式（振内町）
- 機動職業訓練入学式
- アイヌ民族文化祭
- 成人式

2月

- 義経雪あかり
- 全道PKグランプリ（93チーム約800人参加）
- 初午祭
- 高齢者三大学合同学園祭
- シシリムカアイヌ文化祭
- 荷負小学校閉校式

3月

- 教育奨励表彰式
- 地域づくり住民講座
- 中心市街地活性化セミナー
- 平取ダム建設検討の場
- 平取ダム建設工事の継続と早期実現をめざす決起大会
- 老人福祉センター改修事業基本設計プレゼンテーション



4月

- 北海道知事及び北海道議会議員選挙投・開票
- 町民交通安全の日開始
- 高齢者三大学合同入学式
- 平取町納税貯蓄組合解散
- 平取町議会議員選挙投・開票
- 平取町議会議員選挙当選証書付与式

5月

- 環境講演会
- グリーンフェスティバル
- フラワータウンフェスタ
- 振内町民ラジオ体操100日大会
- すずらん観賞会
- 安田治男氏が旭日単光章（高齢者叙勲）を受賞
- 檜野公氏が北海道指導林家の認定を受ける



6月

- 平取町家畜共進会
- 貫気別ファミリーフェスティバル
- 中道善光氏が旭日双光章（地方自治功労）を受賞

7月

- おもしろ科学の祭典inびらとり
- モンキーリバーランド夏まつり
- 農業委員会委員選挙当選証書付与式

8月

- 全町老人スポーツ大会
- 幌尻まつり
- 「げんきの森」森林体験学習
- 義経神社例大祭
- チプサンケ
- ふれあい広場

9月

- 戦没者追悼式
- ホツカイドウ競馬平取町長杯「平取義経特別レース」
- 平取高校の未来を創る会
- 町民マラソン大会・第1回駅伝大会
- びらとり沙流川まつり



10月

- アイリーン・マンロー氏表敬訪問
- マンロー先生を偲ぶ会
- 食育シンポジウム
- 貫気別劇場2011

11月

- 文化祭
- 功労者等表彰式
- 町づくり住民大会（元マラソンランナー 松野明美氏講演）
- 貫気別中学校統合記念式

12月

- ボランティアの集い
- 全町老人の集い
- 森林シンポジウム
- ISO14001更新（2回目）
- びらとりトマト販売額40億円を突破



ISO14001 F XV

○環境ISO更新について

町では、平成23年12月に、環境ISOの認証期間が終了し、認証機関である北日本認証サービス株式会社より、更新審査を受け、新たに3年の認証を取得することができました。

今年度はすでに新たな環境目標を掲げ、事務用紙、電気量など、各項目の削減・抑制に取り組んでいます。

エネルギーの抑制効果を高めるためLED電灯の検討や新しい省エネ方法の導入、自然・環境に配慮した事業・施策の展開など、今後も環境への取り組みを継続します。

ISO 認証マーク



認証機関が国際基準に基づき審査を行い、達成が認められた事業所に認証が交付されます。

○太陽光発電の導入へ！

広報誌でも何度かご紹介している太陽光発電ですが、すでに導入されているご家庭もあるかと思っています。

大規模なものでは、平取中学校へ導入されています。新築住宅や、リフォームを行う際、補助制度も活用いただき、導入を考えてみると、より身近に感じてきます。

もちろん、それ以外にも携帯電話の充電、電卓、懐中電

灯など小さな家電にも備わっているものがあり、皆さんも一つくらいは持っているかもしれません。

これから寒い冬に向け、化石燃料の消費に目が行きがちですが、太陽光を利用した家電を上手に取り入れ、節電をが家庭で取り組んでみてはいかがでしょうか。

○冬を乗り切るひと工夫！

環境省では地球温暖化防止のため、「寒い時は着る」「過度に暖房機器に頼らない」「そんな原点に立ち返り、ウォームビズを推奨しています。」

ウォームビズは暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって、CO2発生を削減し地球温暖化を防止することが目的です。

左の図は、ウォームビズを「衣類」「食べ物」「住まい」に、ひと工夫して暖かくなれるアイデアです。

「北海道民は、冬でも家の中では薄着、半袖」と言われています。もし、そういう方が居ましたら、厚着して室温を下げることで、電力や化石燃料を抑制できます。

食事、鍋の回数を増やすと、一家団らんで心も温まりそうです。

住宅も断熱シートや、隙間テープといった便利なグッズが店頭並び、取り組みやすい環境です。

これからの冬はひと工夫して、賢く暖かに過ごしませんか。

衣類

首、手首、足首の「三つの首」をあたためるべし

- マフラー、手袋、レッグウォーマーを活用
- お風呂あがりには1枚多く羽織り、寝るときも、首にタオルであたためる

「素材」に着目し、おしなれにあったまるべし

- 軽くて薄い服など、機能性素材の下着を活用
- セーターなど上に羽織るものは機能性素材を選んで着ぶくれ防止

マフラーやひざ掛けを活用すべし

- マフラーやストールでこまめな体温調節、ストールはひざ掛け代わりに

食べ物

「鍋」でからだも室内もあたためるべし

- 家族や友達と集まって鍋を楽しみながら、からだも室内もあたためて、暖房を緩和
- 鍋からの湯気による加温効果で体感温度がさらに上昇
- 一部屋に集まって他の部屋の暖房や照明はオフ
- 冬が旬のもの、根菜類、しょうがなど、体をあたためる食材にもこだわろう

食生活を整えて寒さに強いからだをつくるべし

- 朝食をしっかり摂り、1日元気に活動するためのエネルギーを充電
- 朝食にも
- 朝食を食べることで朝食もおいしく、肥満防止にも効果的

住まい

湿度を意識し、体感温度を上げるべし

- 省エネ加温器やお湯の入ったやかんなどで加湿
- 湿度計、湿度計を近くに置いて室内環境を「見える化」

窓やドアに注目すべし

- 窓やドアなどからあたたかい空気が逃げない工夫
- 窓は断熱シート、複層ガラス、二重サッシなどを活用
- 扇風機であたためよう

「道具」や「小物」で暖房に頼りすぎない工夫をすべし

- 湯たんぽ、毛足の長いスリッパや座布団、カイロなどを効果的に活用

その他：入浴と運動の時間を大切にすべし

- 入浴でからだも心もあたためる
- ゆず湯、しょうが湯、大根湯などでからだをあたためる効果が上昇
- お風呂あがりには1枚多く羽織り、寝るときも、首にタオルをあたたかく（再掲）
- ちょっとした時間で足湯を行うのも効果的
- 通勤、通学で一駅分を歩いたり、3階程度なら階段を使うことで体温上昇にも健康にも効果的
- 家や職場で寝てできる血行促進運動

※環境省「WARM BIZ」より抜粋

町の取り組み

7月から12月までに補正された予算について

主なものをお知らせします

保健・医療・介護・福祉の向上

1. 荷葉へき地保育所保育士の増員
(うち一般財源 157万円)
2. 子育て支援対策事業
(うち一般財源 87万円)
- 乳幼児家庭全戸訪問、養育支援訪問に係る備品等を整備します。

産業の振興

3. シカ捕獲業務委託料 350万円
(うち一般財源 350万円)
- 日高鳥獣被害防止対策広域協議会が設立され、協定で決められた駆除経費を追加します。



4. 地域商品券発行事業補助金

- (うち一般財源 470万円)
- 町内消費拡大と町民の生活支援を図るための地域商品券発行に対し、商工会へ補助します。

5. 「びらとりトマト・和牛フェア」

- 開催支援補助 80万円
(うち一般財源 80万円)
- 「びらとりトマト」と「びらとり和牛」をPRするため、地域資源活用再生協議会が札幌で行うイベントを支援します。

6. ふるさと雇用再生特別対策事業

- 「アイヌ文化連携 体験交流産業創造事業」
(うち一般財源 946万円)
- 地域の農家や林家・高齢者を対象に体験農園等の意向調査と受入体制の構築に向けたネットワークを形成して行きます。

生活環境の向上

7. 電柱架設ケーブル移設
(うち一般財源 161万円)
- 電柱の支障移設に伴い、共架している町のケーブル線を移設します。
(3件)

8. 川向牧野線法面改良工事

- 227万円
(うち一般財源 42万円)
- 法面補強工事を延長10m行います。

9. 緊急経済活性化対策事業

- 2000万円
(うち一般財源 2000万円)
- 町道10箇所と河川8箇所の修繕を行います。



町民活動・行政活動の充実

10. 中央公民館備品整備 139万円
(うち一般財源 139万円)
- 公民館大ホールで葬儀使用に必要な放送設備、黒幕などを整備をします。
11. 職員住宅等改修整備 400万円
(うち一般財源 400万円)
- ふるさと親子留学家族や、新規就農者の入居用住宅改修整備を行います。



教育・文化の推進

12. 児童生徒輸送委託 26万円
(うち一般財源 26万円)
- 「荷負く貫気別」「旭く貫気別」のスクールバスを増便します。

快挙!! 親子でつかんだ最優秀賞 アイヌ語弁論大会 イタカン ロー (11/22)

アイヌ文化振興・研究推進機構が主催するアイヌ語弁論大会「イタカン ロー (アイヌ語で話しましょう)」で、二風谷の織田瑞希さん (二風谷小 4) と母 久美子さん、貝澤優弥くん (平取中 3 年) と父 輝三さん、木村梨乃さん (平取中 3 年) と母 真奈美さんの 3 組の親子で出場し、弁論部門で最高位の最優秀賞を受賞したことを報告に、町長室を訪れました。

6 人は「親と子のアイヌ語学習会」に通い、早口言葉の「オンネパシクル (年寄りガラス)」で、初めての大会に挑みました。

「会場に立つと緊張で、頭が真っ白になった」との感想でしたが、大変うれしい報告となりました。



新感覚のトマト料理が登場 平取高校「新レシピ」試食会 (11/25)

フードデザインを学ぶ 3 年生の渡邊大志さんと千引実紗さんが、春から開発、試作を行ってきた「びらとりトマトを使った新レシピ」の試食会が、町内の関係者を招いて行われました。

生地にも具にもトマトを使ったピンク色の餃子やパン、クッキーなど創意工夫を凝らした料理に、参加者から賞賛の声があがりました。

この平取町の特産品を使ったレシピ開発は、今年度より JA 平取町から一部助成を受け、連携しながら始めたもので、今回のレシピは JA 平取町のホームページでご覧になることができます。



トマト餃子

交通安全啓発のため、日高建設協会より道路看板が寄贈されました。

町内を走る国道 274 号線の愛称が「沙流ユーカラ街道」に決まったことから、その名を記した看板には、自然の中を雄大に流れる沙流川の写真が使われ、蛍光塗料で書かれた「交通安全」の文字は、夜間でも人目を引きます。

日高町から街道沿いに全部で 9 箇所掲げられ、これからの季節、年末年始の交通安全にも役立つことでしょう。



◆ご寄贈ありがとうございます

目を見張る作品に思わず「おお」 日高管内道民芸術祭 工芸展 (11/26)

北海道文化団体連絡協議会が主催する工芸展が催され、会場となった中央公民館には管内各町から寄せられた手工芸品 66 点が展示され（町内からは 16 点）、町内外からの見学者が途切れることなく訪れていました。

おし花で作った繊細な風景画、楽しい気持ちにさせてくれるパッチワークや布の絵本、手づくりとは思えない皮工芸品など、その素晴らしい作品の数々に、来場者は感嘆のため息をついていました。



親子留学 10 周年を記念

ふるさと親子留学推進協議会 (12/1)

振内地区の住民が主体となって取り組んできた「ふるさと親子留学」が 10 周年を迎え、記念の報告会と祝賀会が地域の関係者を招いて行われました。

これまで 10 組の親子が留学し、現在は 7 組 23 人が振内で暮らしていますが、その受入れ状況、住宅状況の課題をはじめ、今後 2 組の留学が決まっていることや、東日本大震災の被災者からの問合せについて報告があり、留学中の親子 7 組全員からは、平取暮らしの感想が聞かれました。



札幌からの無料シャトルバス運行 全国自治宝くじ普及広報事業

本町が持つ自然や伝統文化、農産物など、豊富な地域資源を活かすため、今回、全国自治宝くじの助成金を受け、札幌からの無料シャトルバスを 9 月中旬から 10 月末までの土・日・祝日に運行しました。

この間、延べ 390 名もの参加者を受入れ、町内の観光地で、歴史文化の見学・体験、フットパス、温泉、食事、買い物を楽しんでいただき、交流を図りました。

この事業は、自治総合センターの助成事業で、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的に行われています。



❖北方領土返還協力員のご紹介❖



社団法人 北方領土復帰期成同盟の協力員に、遠藤裕昭さん（本町）が委嘱されました。

協力員は、北方領土問題に関する認識を深め、地域から領土返還の世論を高めるための様々な啓発活動を行っていきます。

11 月 20 日には、町づくり住民大会会場に署名コーナーを設置し、多くの署名をいただきました。



遠藤裕昭さん
（本町）

教育委員会からのお知らせ

貫気別中学校統合式

～思い出を胸に… 11月13日（日）～

昭和22年5月に貫気別中学校として認可され、当時の青年会館、消防機械置き場2階を教室として授業を開始して以来、1,990名の卒業生を送り出してきた貫気別中学校で、200名を超える卒業生、地域の方々が出席し、統合式が執り行われました。

最後に、長田校長と水沢生徒会代表から校旗が本間教育委員長に返納されました。統合になっても、この地域に生まれ育ち暮らしてきた人々の心の中に、貫気別中学校は永遠に存在し続けることでしょう。



貫気別中学校の沿革

昭和22年 5月	貫気別中学校として開校、荷負・上貫気別・芽生にそれぞれ分校を設置
24年 3月	校舎落成
25年 2月	荷負分校が独立
29年11月	上貫気別・芽生分校が独立
33年 2月	類焼により校舎全焼
6月	校舎落成
41年 4月	芽生中学校と統合
45年 4月	荷負・上貫気別中学校を分教室とする
46年 8月	統合新校舎完成
9月	荷負・上貫気別分教室と統合
平成24年 3月	平取中学校と統合

校庭に伝統的高床式倉庫「プ」を建てる

～紫雲古津小学校5・6年生の総合的な学習活動～

紫雲古津小学校では、今年度も野草観察を通してアイヌ語を学ぶなど、継続してアイヌ文化の学習に取り組んでいます。

今回の伝統的高床式倉庫「プ」の建築は、5・6年生のアイヌ住文化学習で「チセ」の建設現場を見学し、「自分たちにもできないか」との子どもたちの意欲から実現した発展的な取り組みです。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の支援により、伝統工芸の第一人者である尾崎剛氏、貝澤守氏を講師に招いて、床の高さ約1.7mの上に幅2.2m、奥行き3m、高さ1.8mの「プ」を2ヶ月間かけて完成させました。

この活動で子どもたちは、材料の木の皮むきやホタテの貝殻を使った柱の穴掘り、屋根に葺く萱刈り作業などの幅広い学びを通して先人の工夫や苦勞を感じ取るとともに、学んだことを、完成した「プ」の姿で他の人々に発信するという力も獲得することができたようです。「プ」は校庭の奥の銀杏の記念樹の傍らに建っていますので、立ち寄ってご覧ください。



振内小学校で二期会合唱団が巡回公演

11月9日、振内小学校では文化庁の「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」プログラムである「二期会合唱団」の公演が催されました。オープニングでの混声4部に編曲された「振内小学校校歌」の合唱で、子どもたちの目の輝きが変わりました。

第1部では踊りも交えた楽しい合唱や独唱によるパートの紹介、そして、事前のワークショップで指導を受けて練習した「世界中の子どもたちが」を児童たちも歌いました。



第2部はオペラ「魔笛」の上演。プロの豊かな声量や抜群の演技力に会場全体が魅了され、参観した保護者の皆さんからは、「子どもたちも私たちも幸せでした。心がきれいになり癒されました」との声。先生方からも「他校の子どもたちにも見せてあげたかった。最後まで集中できていたのは、本物の良さを肌で感じ取れたからだと思います」と大好評の公演になりました。



平取中学校吹奏楽同好会が校外デビュー演奏♪

～町づくり住民大会で暖かい拍手～

今年6月に活動を開始した吹奏楽同好会は、11月20日、「町づくり住民大会」のアトラクションにおいて、校外で初めての演奏を披露しました。

オープニングは1年生女子によるアンサンブル「天城越え」。会場の視線を一点に浴びて緊張は頂点に達していたらしく「音はずしたり、大事なところで間違ったりして練習不足だった」とは言うものの演奏が終わると、会場から拍手喝采を受けました。

2曲目は全員で「日本愛唱歌メドレー」を、情感こめて演奏し、会場を埋めた町民の皆さんの暖かい拍手に包まれメンバーも安堵の表情。続いて、同じくアトラクションに出演したプロサクソ奏者の粥川なつ紀さんから「一緒に演奏したかった。いい演奏でしたよ」と励ましの声をかけてもらい「これからも頑張りたい」と決意を新たにしていました。短い時間でしたが、地域住民の皆さんの平取中学校吹奏楽同好会に対する関心・期待の強さを実感させる熱い空気の中での校外デビュー演奏でした。



教育推進計画策定委員（敬称略）

平取町教育推進計画を作成しています

教育委員会では、教育行政の推進を図るための基本的指針となる次期「教育推進計画」の策定に向け、現在、公募委員も含めた策定委員会へ諮問を行っています。

策定委員会は、1月までに答申予定としていますが、答申後、教育委員会は、計画内容の公表とともに、町民から意見等を聴取して、最終的に教育推進計画を決定していきます。

氏 名	役 職 名
小西 正男	生涯学習委員会委員長
原田 和枝	生涯学習委員会副委員長
佐々木周恵	生涯学習委員会社会教育部会長
宮北 禮造	生涯学習委員会健康スポーツ部会長
佐藤 正規	校長会会長
山田 知子	教頭会会長
福澤 肇	PTA 連合会会長
菅田 協男	一般公募委員
根本 幸子	〃

教育委員会からのお知らせ

第 32 回平取町女性の集い

11月17日、「みんなの力で地域活動を高める」をスローガンに女性の集いが中央公民館で開催され、町内の女性270名が参加しました。

今年の集いは、法律相談や音楽鑑賞、芸能発表などが行われ、中でも特に来場者の関心を引いたのは「だれでもわかる・かんたん法律相談」で、実行委員メンバーが演じた貸金業者に係る連帯保証責任の寸劇が問題を提起し、それに対して、振内町出身の池田謙一弁護士（札幌双葉法律事務所）が、分かりやすく解答を導いてくださいました。

また、チャリティーバザーによる売上げの一部が、東日本大震災義援金として寄付されました。



かんたん法律相談



芸能発表での JA フレッシュミズ

町づくり住民大会・交通安全住民の集い

11月20日、町自治振興会により開かれた大会は、250名が参加し、元マラソンランナーの松野明美氏による特別講演、消防職員からの東日本大震災緊急援助隊活動報告やプロ音楽家によるミュージックライブなどが催されました。

また永年、自治会活動等に貢献された次の方々に対し、表彰状が授与されました。

◇住民運動功労 高瀬哲朗（芽生）、丹野信一（貫気別）、
二風谷老人クラブ「寿会」、ボランティアサークル「愛」（本町）

◇交通安全指導員永年勤続

15年特別表彰 中林正幸（振内町）、10年 平村盟（本町）、
5年 斎藤昌紀（振内町）（敬称略）



松野 明美さん

高齢者と子どもの交流会

11月23日、町子ども会育成連絡協議会主催の「高齢者と子どもの交流会」が振内町民センターで開催されました。

振内地区の老人クラブ会員、町内の子ども会員、そして振内小学校児童の総勢82名が参加した今年の交流会は、パズルやクイズ等のゲームを楽しんだ後、振内老人クラブ会員で舞踊師匠の廣田セイ子さんを始め、芳誠会の皆さんから、「ありがとう音頭」の指導も受け、異世代間交流となる、ふれあいのひと時を過ごしました。



パズルゲーム



ありがとう音頭

「リトラビ」でバドミントン教室 ～元オリンピック選手が指導～

11月16日、本町地区リトルラビッツスポーツクラブ（通称：リトラビ）で、文部科学省の未経験者を対象とした講師派遣事業により、シドニー、アテネオリンピックに出場した山田英孝氏（35）が講師として来町し、バドミントン教室が開かれました。

参加した子どもたちは、ラケットの握り方から正しい素振りの仕方やシャトルの打ち方など、山田講師のユーモアを交えた丁寧な指導に、楽しみながらバドミントンの基礎を学びました。



ラケットの握り方を説明

スポーツ少年団員 体力テスト会



時間往復走

平取町スポーツ少年団本部主催の「体力テスト会」が11月12日、町民体育館で行われ、町内の各少年団から87名が参加しました。

参加者は立幅跳び、腕立伏せ、腹筋などの5種目のテストを受けましたが、特に最後の5分間走では汗だくになりながらも、自分の体力の限界に挑戦していました。

スポーツ少年団紹介

- 創立年 昭和56年
- 指導者数 6名
(指導者代表 佐藤和三)
- 団員数 24名

平取本町バドミントンスポーツ少年団

1981(昭和56)年2月25日に団の結成総会が開かれ活動開始！当初は小中学生合わせて40名を超える団員が所属。

バドミントンは「より高く、より早く、より前で」を意識し一瞬・一打を争うスポーツです。夏季間は週3回、冬季間は週2回という他のバドミントン団体と比較して、練習時間は少ないと感じますが、各大会で上位入賞を目指して頑張っています。勝つことのみではなく、努力の積み重ねによって得るもの、そして、体を動かし汗を流すことの心地よさを幼い頃から感じてほしいと思います。



最近の大会結果

【中学生】

- ・平成22年度中体連女子団体 全道3位
- ・平成23年度全日本ジュニア選手権
苦小牧予選 準優勝 小野寺菜月

【小学生】

- ・第19回米坂杯苦小牧地区小学生大会
6年生以下 準優勝 鶴野 立堂

すこやかだより

ー保健福祉課ー

目指せ、生活習慣病予防！
く増え続ける糖尿病く

今や、生活習慣病もメタボリックシンドロームも、私たちの生活には馴染み深い言葉となりました。世の中の流れは、病気の早期発見ではすでに遅く、病気になるやすいリスクを早めに見つけ、生活習慣を改善する事が大切とわかっていきます。

メタボリックシンドロームは腹囲が男性で85cm女性で90cm以上が第一条件となり、更に、高血圧・糖尿病・高脂血症のリスクが幾つ該当するかによって判定されます。逆に腹囲が基準を超えていても、三疾病のリスクが一つもなければ、メタボリックシンドロームとは判定されません。

このことから、様々な生活習慣病の誘因となる肥満を放置することは、決して良いことではありませんが、あれもこれも一度に生活習慣を改善し、三疾病を予防することはとても大変です。まずは目前に迫る健康危機、高血圧・糖尿病・高脂血症の改善を図ることから始めてみませんか。今回は、日本だけでなく世

界的に見ても問題視されている「糖尿病」について考えてみましょう。



く糖尿病患者が急増中く

少し前のニュースですが「糖尿病患者が全世界で3億人突破」と報じられていました。ほぼ同じ時期に全世界の人口が70億人を突破したとも報じられました。毎年、国際糖尿病連合が調査している、今年の糖尿病患者数は3億6600万人と昨年の2億8460万人から約30%も増え、患者の急増に歯止めがかからない状況です。

世界的にみても、今後、糖尿病もしくはその関連での死者数が増える事が予測されるため、国連は2006年に「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を採択し、インスリンの発見者であるバンティン博士の誕生日の11月14日を『世界糖尿病デー』と指定し

糖尿病に関する知識の普及啓発を行う事にしています。国連が疾患名を冠した啓発の日を設けるのは12月1日の『世界エイズデー』に続き二つ目となるため、エイズの脅威と同じ位、世界規模で取り組みなければならぬ問題と認識していると言えます。日本では、東京タワーや通天閣、札幌テレビ塔などがこの日にシンボルカラーである青色にライトアップし、糖尿病の予防・治療・療養を喚起する啓発活動を行っています。

一般的に糖尿病は、なり易い体質の方が、なり易い生活習慣を送ることで発症する事例が多くみられます。そのため、親や兄弟に糖尿病患者がいる方は、より生活に注意する必要がありますが、身内に患者がいなくても、運動不足や過食、不摂生な生活を送ることで誰しもがなり得る可能性があります。

糖尿病を予防するための生活改善は、高血圧や高脂血症と共通するものも多くみられます。日頃から、生活習慣を見直し、小さなことから続けられる改善点を見つけ、実践していく事が大切です。

今年度、最後のチャンス
く特定健診のお知らせく

町では毎年、平取町国民健康保険病院・北海道対がん協会・札幌厚生病院に委託し、特定健診を実施しています。仕事や用事で、まだ健診を受けていない方を対象に今年度最後の健診を行います。この機会にお受けください。ようお知らせします。

日時・場所

平成24年2月21日(火)

6時~9時

対象

ふれあいセンターびらとり

内容

今年度の健診が未受診の方
①特定健診
②胃・肺・大腸がん検診等

健診の受診を考えている方、受けてみようかと思われた方、詳しくは「まちだより」でお知らせしますので、ぜひお問い合わせ、お申込みください。



図書館へいこう

☆開館時間

火～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日 10:00～17:00

☆休館日

月曜日休み、月曜日が祝日の場合は
月曜日と翌日が休みとなります

1月

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	⑤	6	7
8	⑨	⑩	11	12	13	14
15	⑬	17	18	19	20	21
22	⑮	24	25	26	27	28
29	⑳	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	⑪
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉑	28	29			

※□は休館日です。

It's New!

新しい本が入りました

ここに掲載されたもの以外にも、たくさんの
本がありますので、お気軽に図書館（☎ 4-6666）
までお問合せください。

あなたの一冊のお手伝いをします。

【小説・エッセイ】

『ヒート』／堂場瞬一

『あかりの湖畔』／青山七恵

『ヒア・カムズ・ザ・サン』／有川浩

『ワンス・アホな・タイム』

／安東みきえ

『さざなみの国』／勝山海百合

『これでおしまいわが老後』／佐藤愛子

『蛍の航跡』／帚木蓬生

『放蕩記』／村山由佳

『スウィート・ヒアアフター』

／よしもとばなな

『千里伝 武神の賽』／仁木英之

『銀色の絆』／栗井脩介

『夢違』／恩田陸

『花明かり 深川駕籠』／山本一力

『ホテル・ピーベリー』

／近藤史恵

『外事警察 CODE:ジャスミン』／麻生幾

【家庭・生活・趣味】

『りんごのかんたんおうちお菓子』

／内田真美

『じゃがいも、玉ねぎ、にんじんさえあれば!』

／荻野恭子

【社会・経済・政治・その他】

『夢をかなえる。』／澤穂希



図書ワゴン（移動図書館車）

1月の運行日程

12日（木）【貫気別地区】

11:00～11:30 荷負 遠藤和江さん宅前

11:45～12:30 貫気別生活館

12:45～13:15 芽生生活改善センター

13:30～14:00 旭生活館

13日（金）【振内地区】

11:45～12:30 山の駅ほろしり館

12:45～13:15 岩知志ふれあい館

13:45～14:15 豊糠生活改善センター

※利用者カードなしでも、その場で貸出します。

※本の返却や、不用になった本のご寄贈も受付
けています。ぜひお立ち寄りください。

蔵書点検を終えて…

10月18日～21日、2年に一度の図書特別
整理（蔵書点検）として、図書・DVD・
雑誌などすべての資料（約7万点）の点検作
業を実施しました。

所蔵している資料のバーコードを一件残ら
ず機械で読み取るという単純かつ膨大な作業
を、館内くまなく職員等総出で黙々と行った
結果…不明資料はわずか19件で、不正に持ち
出されたりしたものがごくわずかだったこと
がわかりました。

アンケートにご協力ください

館内2か所にアンケートボックスを設置し
ました。

よりよい図書館づくり
のために皆様の声をお寄
せください。

ご意見・ご要望にはでき
るだけお応えしたいと思
いますので、ご協力をお願
いします。



みんなの写真館



○写真を募集します！

広報広聴係では、これまで裏表紙に、町内の出来事や風景などを「今号の1枚」として写真でお伝えしてきましたが、これと併せて、ご家庭ならではの出来事、大好きな人やものを撮った写真を募集し掲載します。

Q. いつ応募しても良い？

いつ応募しても良いですが、発行時期や応募数など考慮しますので、必ず掲載するとのお約束はできません。

Q. 選考方法と応募先

【選考方法】 広報検討委員会にて決定します。
【応募先】 平取町役場 総務課 広報広聴係
✉ kohokocho2008@town.biratori.hokkaido.jp
☎ 2-2221 (詳細は、ご相談ください)
※住所・氏名と、写真の簡単なコメントも添えてください。
※持参、またはメールによりご応募ください。

Q. どんな写真でも良い？

ジャンルは問いません。例えば・・・
①お子さん、お孫さんとの行事
②働くお父さんや、お母さん
③自慢のペット
④風景、昔の街並みなど
※風景は、町内に限らせていただきます。
⑤その他、サークル活動やみんなに観てもらいたいもの

Q. 応募写真の素材は？

応募は、デジタル素材のものを推奨します。
※写真フィルム、印画紙写真も可能ですが、印刷画像が粗くなったり、画像の確認に時間がかかったりするため、デジタルカメラで撮ったもの（主に JPEG 形式）の応募にご協力ください。

句 俳 実 の 楯

記念樹の影寄り添ふて初菫
初詣願ひは五指に又ひとつ
雑煮祝ふ八十路の膳に夫婦箸
去年今年絆も千切れ部屋広し
豊穰と願ひの多き初詣
元旦を静かに祝う二人かな
葉牡丹や雪を載せなお華やけり
このままの幸せ願い破魔矢買う
初雪を掃ひて^{ほつき}箒目清々し
玄関に小菊なれども季節の香
住み古りし第二の故郷初明かり

柴田 紫梢
中道 サト
石森 礼子
吉野 千佳女
山崎 喜峰
内海 アヤ子
渡辺 正子
西塔 しずえ
清水 眞子
遠藤 紫光
井内 青風

町の人口	人 口	5,629	(▲ 1)
	男	2,719	(▲ 3)
	女	2,910	(2)
	世帯数	2,613	(▲ 1)
	外国人登録数	125	
()内は前月比 11月末現在			